

- ワクチン効果、防御能のチェックのためのセット検査です。  
全ての銘柄のワクチンでご利用いただけます。

セット名	項目	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
犬ワクチン セット Aセット	CDV抗体 CPV-2抗体	血清・血漿 0.075mL	常温 冷蔵	5日 以内 ※1	CDV:IP CPV-2:ELISA CAV-1:ELISA	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ワクチン接種後の効果判定(主に若齢犬)やワクチン追加接種の必要性の確認(主に成犬)の検査です。ワクチン接種後2~3週以降に採血してください。なお、CPV-2のみの判定はワクチン接種10日後で可能です。</li> <li>2.犬以外(フェレットやキツネなど)ではCDV抗体が若干低く測定されることがあります。</li> <li>3.【結果の解釈】は一般的なものです。特にワクチン接種が必要と考えられる場合はワクチン会社にお問い合わせ、またはワクチン会社発行の技術資料を参照の上ご判断ください。</li> </ol>
犬ワクチン セット Bセット	CDV抗体 CPV-2抗体 CAV-1抗体	血清・血漿 0.1mL	常温 冷蔵			

- 犬パルボウイルス2型(CPV-2)抗体検査の方法をELISAに統一しました。  
⇒すべての銘柄のCPVワクチンに対応することが可能となりました。  
⇒キャニバック®Aセット、キャニバック®Bセットは終了させていただきます。
- 犬アデノウイルス1型(CAV-1)抗体検査方法をELISAに変更しました。  
⇒CAV-1抗体検査はこれまで中和試験で実施しておりましたが、検査日数が約7日間要することから迅速性の面で先生方にご迷惑をおかけしておりました。この度、5日以内に結果のご報告が可能ないようにELISAを適用することになりました。  
検査材料の量も0.15mL ⇒ 0.1mL(Bセット)と少量で検査可能となりました。  
⇒今回の変更による混乱を防ぐために、検査結果(抗体価)についてはこれまでの判定基準値をご利用いただけるように、暫くの間従来法のレベルに補正した値を報告させていただきます。
- 犬ジステンパーウイルス(CDV)希釈倍数を変更します。  
⇒今までは、CDV抗体検査はサンプルを20倍から2560倍まで(8段階)2倍段階希釈しておりましたが、40倍から1280倍まで(6段階)の希釈に変更させていただきます。  
この変更によるワクチン効果および防御能の判定への影響は全くございません。

※1: 弊社受付日を0日とした営業日換算(土、日、祝日、弊社指定休日を除く)

キャニバックは共立製薬の商標です

## 【結果の解釈】

12週齢以上			
CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80以下	20以下	20以下	ワクチン効果、防御能が十分とは言えません。
160～320	40～80	40～80	防御可能な抗体価です。しかし、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が望ましいでしょう。1年後にワクチンを追加接種されるか、抗体検査を実施されることをお勧めします。
640以上	160以上	160以上	長期間防御可能な良好な抗体価です。

10-11週齢			
CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80以下	20以下	20以下	ワクチン効果、防御能が十分とは言えません。
	40		移行抗体の可能性があるので12週齢以降の再検査をお勧めします。
160～320	80	40～80	防御可能な抗体価です。しかし、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が望ましいでしょう。1年後にワクチンを追加接種されるか、抗体検査を実施されることをお勧めします。
640以上	160以上	160以上	長期間防御可能な良好な抗体価です。

各月齢における移行抗体との区別にはワクチン接種済みの健康猫100頭の抗体価を測定し、そこで得られた最高の値をもとに移行抗体の半減期から算出したデータを利用しています。

- ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。